

# 2022年度の入試分析 (東海編・私立大学)

リクルート進学総研  
飯島隆介



# Profile

## 飯島隆介

リクルート進学総研 研究員

株式会社リクルート入社後、主に首都圏、関西圏の大学の学生募集広報戦略の立案・遂行や、新增設改組、周年記念事業、ブランディング事業、キャンパス移転案件まで幅広く担当。  
2021年度より、進学総研研究員を兼務。

0. はじめに
1. 昨年までに起きたこと
2. 今年の結果速報－全体
3. 今年の結果詳細－分野系統別
4.                   －個別校状況
5.                   －大学群別状況
6.                   －年内入試を含めた考察
7. まとめ

## 2022年度入試分析速報 概要

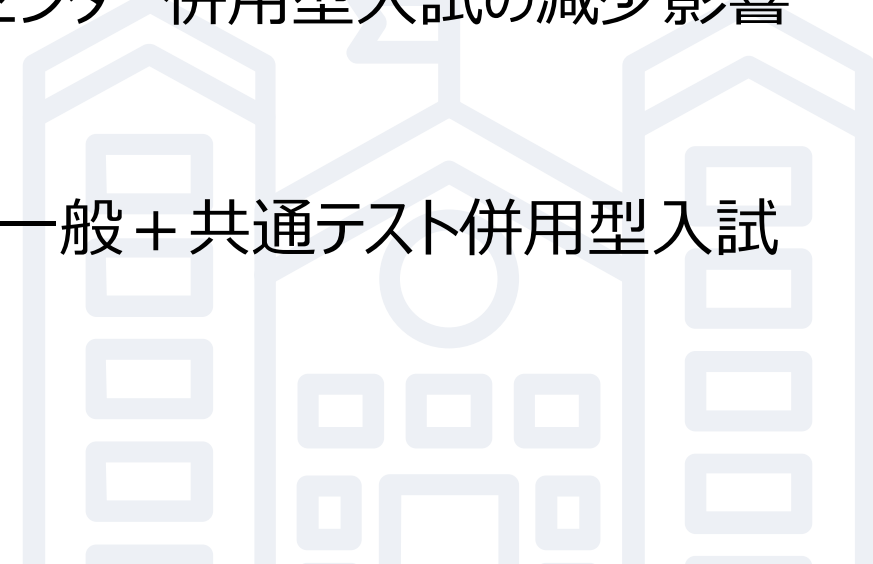
- ✓ 集計対象は東海4県の私立26大学
- ✓ 一般入試・共通テスト利用入試の志願状況について、大学HPで公開された情報（前期・A日程）を基に、リクルート独自の観点で分析し、  
(2022年2月18日段階 ※イブニング・二部等の志願者数は除く)  
東海圏募集市場の概観をまとめています。
- ✓ なお、確定前のデータを一部含むため、最終結果と異なる場合があることをあらかじめご了承ください。

- 私立大学の定員管理厳格化→大規模大学の入学者調整→不合格者大幅増による受験生不安→滑り止め大学への出願増

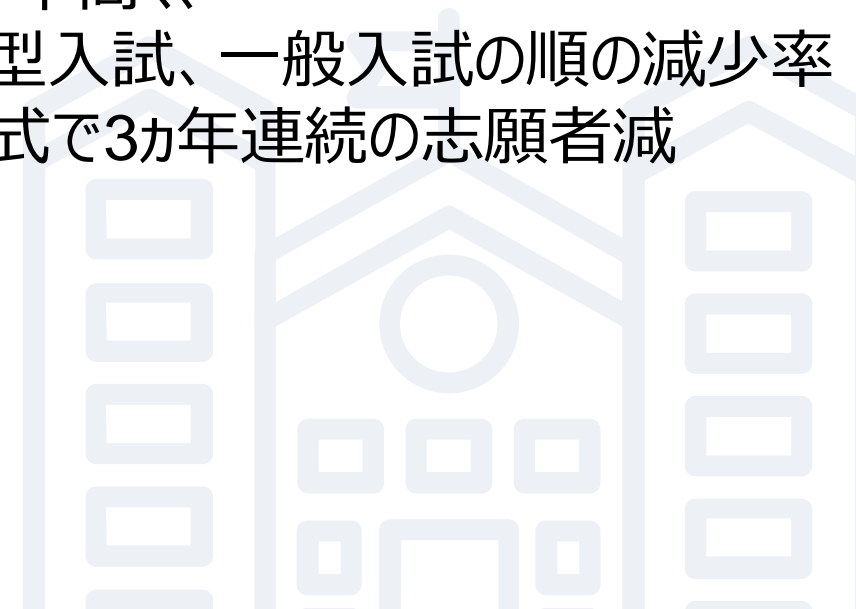
この流れでいわゆる「併願バブル」が発生

19年度まで増加し続けた志願者は、20年度から一気に減少へ一転

- 2019年度→2020年度は、センター試験利用入試/一般＋センター併用型入試の減少影響
- 2020年度→2021年度は、一般入試/共通テスト利用入試/一般＋共通テスト併用型入試全ての方式で10%以上減少



- 18歳人口が全国で2万人弱、東海4県で3000人強減少する中、  
総志願者（延べ・一般入試と共通テスト利用入試の合計）は3%強減少
- 共通テスト利用入試が最も減少率高く、  
次いで一般＋共通テストの併用型入試、一般入試の順の減少率  
19→20/20→21/21→22と全方式で3カ年連続の志願者減



### 3. 今年の結果詳細 – 分野系統別

- 「法律・政治・政策」「理学（過去5年で最大）」の増加と、「外国語(英語)」「保育」「体育・健康」の減少が目立つ。  
25系統中16系統が過去5年で最少の志願者数
- 16系統が2年連続減少で、2年連続増加した系統はなし。

法律・政治・政策系 ↑	工学・理工学系 ↑	教育 ↑
経済・経営・商学・経営情報系 ↓	理学(物理・数学・化学等)系 ↑	保育 ↓
社会・マスコミ系 ↓	農・生命・環境系 ↓	福祉 ↓
情報系(文系) ↓	獣医・水産・畜産 ↓	家政・生活 ↓
国際関係・観光系 ↓	医学系 ↓	栄養 ↓
外国語系(英語) ↓	歯学系 ↓	表現・芸術系 ↑
外国語系(アジア・その他) ↓	薬学系 ↑	体育・健康系 ↓
文学・人文 ↑	看護系 ↑	教養・総合系 –
地理・歴史系 ↓	医療技術・リハビリ系 ↓	
心理・人間系 ↑		

  前年よりUPした分野
   前年よりDOWNした分野
 赤字 2年連続DOWNした分野

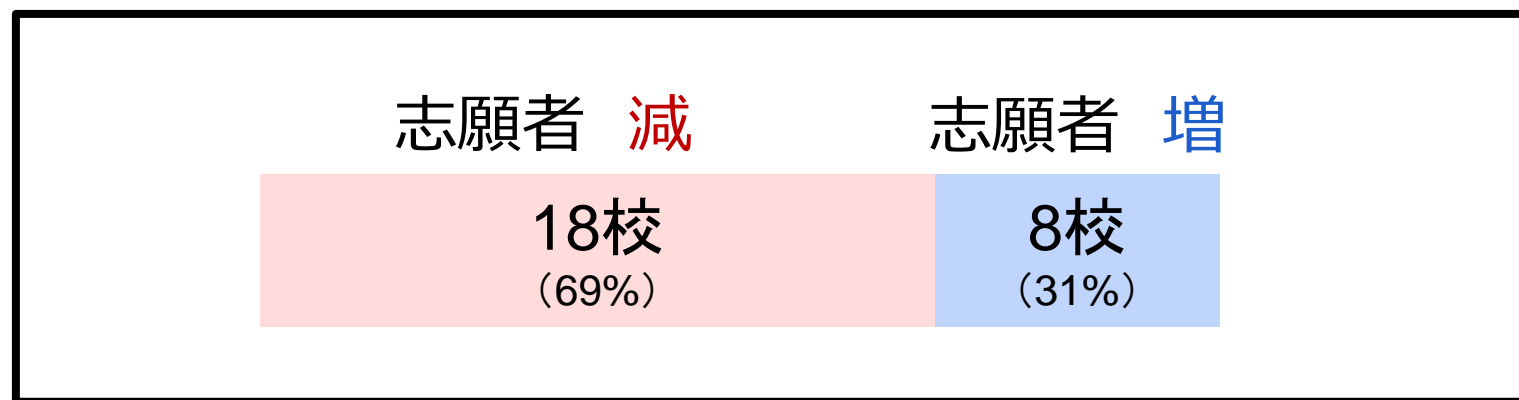
## 4. 今年の結果詳細 – 個別校状況

- 集計対象26大学の志願者増減の状況は、

志願者**増加** 8校 (うち10~20%増 2校、20~30%増 2校、30%~増 1校)

志願者**減少** 18校 (うち10~20%減 6校、20~30%減 3校、30%~減 2校)

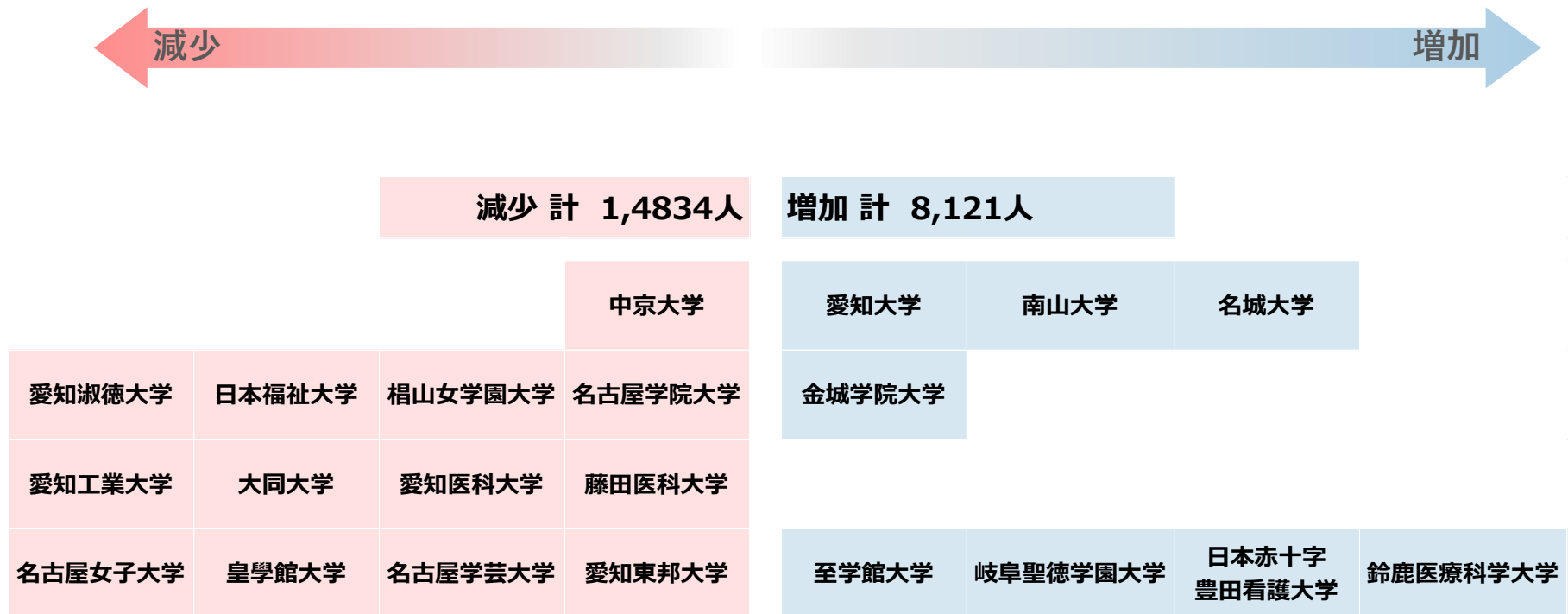
- 入試検定料の変化による志願者増減校も。





## 5. 今年の結果詳細 – 大学群別

- 高難易度校で増加率が高い一方、小規模中倍率校にも  
 新增設など個別要因による増加校が複数。前年度の競争倍率が低下した学校での志願者増加（いわゆる隔年現象）も目立つ。



- 8大学が年内（総合型選抜＋学校推薦型選抜）入試の志願者・合格者を公表。  
この8大学だけで、  
年内入試の合格者数が2年連続1000人規模で増加
- 18歳人口減少、浪人生の減少の影響以上に、  
「年内入試で入学先を決めて、年明け入試を受験しなかった」  
「年内入試で入学先を確保し、年明け入試の受験校数を減らした」  
という受験生の動向が、  
年明け入試の志願者継続減の大きな影響と推察

- 2019→20、2020→21に続き、志願者は3年連続で減少
- 首都圏、関西とは異なり、  
一般入試、一般＋共通テストの併用入試も全ての方式で減少
- 増加校数＜減少校数、高難易度大学で志願者増加傾向
- 系統別には「法律・政治・政策」「理学」の増加、「外国語(英語)」「保育」「体育・健康」の減少が目立つ。
- 年内の総合型選抜＋学校推薦型選抜での合格者が著しく増加、  
年明け受験者数・受験校数が減少している可能性あり。



# ご清聴 ありがとうございました。

高校・大学の取り組み事例等はHPに掲載しています。  
分野別データ等、詳細結果につきましては、営業担当までお問い合わせください。

リクルート進学総研

